

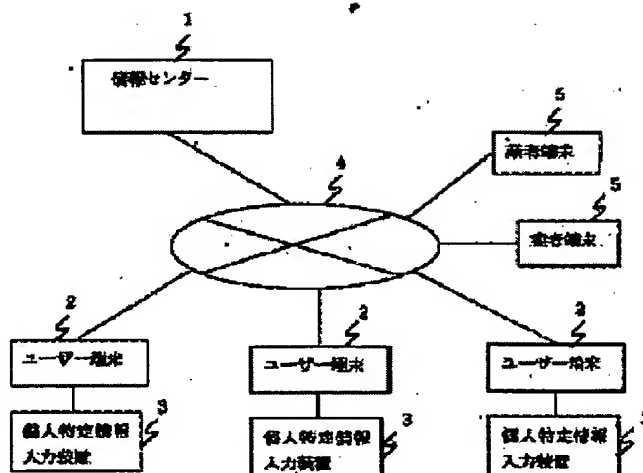
INDIVIDUAL INFORMATION DISPLAY SYSTEM

Patent number: JP2003108529
Publication date: 2003-04-11
Inventor: SUGIMOTO TOSHINORI
Applicant: SECOM CO LTD
Classification:
- international: A61B5/117; G06F15/00; A61B5/117; G06F15/00;
 (IPC1-7): G06F15/00; A61B5/117
- european:
Application number: JP20010303444 20010928
Priority number(s): JP20010303444 20010928

Report a data error here

Abstract of JP2003108529

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate a risk of meeting with a doubtful visitor by providing an individual information display system capable of confirming the identity of the visitor such as a home delivery dealer on the spot. **SOLUTION:** This individual information display system is provided with a server for prestoring individual information and individual specific information, and a user terminal for transmitting the individual specific information to the server via a telecommunication line, and is characterized in that the server checks up the prestored individual specific information with individual specific information transmitted from the user terminal, transmits the individual information stored in relation to the individual specific information to the user terminal according to a checkup result, and the user terminal displays the individual information received from the server.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-108529
(P2003-108529A)

(43)公開日 平成15年4月11日(2003.4.11)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

テーマコード(参考)

G 0 6 F 15/00

3 3 0

G 0 6 F 15/00

330F 4C038

A 6 1 B 5/117

A 6 1 B 5/10

3 2 2 5 B 0 8 5

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2001-303444(P2001-303444)

(22) 出願日 平成13年9月28日(2001.9.28)

(71)出願人 000108085

セコム株式会社

東京都渋谷区神宮前一丁目5番1号

(72)発明者 杉本 敏範

東京都三鷹市下連雀6丁目11番23号 セコ

△株式会社内

Fターム(参考) 40038 FF05

5B085 AA08 AE23 AE25 BE01 BE03

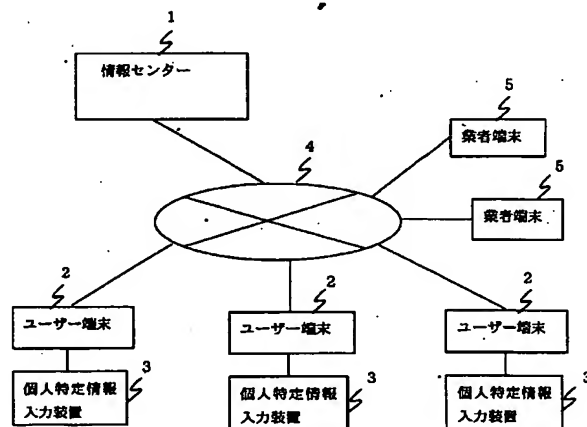
BGO1

(54) 【発明の名称】 個人情報表示システム

(57) 【要約】

【課題】 宅配業者等の訪問者の身分をその場で確認できる個人情報表示システムを提供し、不審な訪問者に対応する危険をなくす。

【解決手段】個人情報及び個人特定情報を予め記憶しているサーバーと、個人特定情報を通信回線を介してサーバーに送信するユーザー端末とを有し、前記サーバーは、予め記憶している個人特定情報と前記ユーザー端末から送信された個人特定情報とを照合し、照合の結果に応じて、前記個人特定情報と関連付けられて記憶している個人情報を前記ユーザー端末に送信し、前記ユーザー端末は前記サーバーから受信した個人情報を表示することを特徴とする個人情報表示システムを提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 個人情報及び個人特定情報を記憶しているサーバーと、個人特定情報を通信回線を介してサーバーに送信するユーザー端末とを有し、前記サーバーは、予め記憶している個人特定情報と前記ユーザー端末から送信された個人特定情報とを照合し、照合の結果に応じて、前記個人特定情報と関連付けられて記憶している個人情報を前記ユーザー端末に送信し、前記ユーザー端末は前記サーバーから受信した個人情報を表示することを特徴する個人情報表示システム。

【請求項 2】 前記ユーザー端末は、個人を特定する情報を入力する手段を有し、入力した個人特定情報をサーバーに送信することを特徴とした請求項 1 記載の個人情報表示装置。

【請求項 3】 前記個人特定情報が指紋情報であることを特徴とした請求項 1 又は 2 記載の個人情報表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】 本発明は、訪問者等が自分の身分情報を訪問先に提示することが可能な個人情報表示システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 最近、ストーカーや強盗が宅配業者等を装って玄関ドアを開けさせて、犯行に及ぶケースがある。一般家庭等において、訪問者があった場合、その訪問者の身分を確認したいというニーズがある。従来は、TVインターホンにて外見を確認したり、身分証の提示を求めるようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、賊が宅配業者の制服を着用したり、身分証明書を偽造する可能性もあり、確実に身分を確認できるようにはなっていないという課題があった。そこで、本発明の目的は、宅配業者等の訪問者の身分を確実に確認できる個人情報表示システムを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上述の問題点を解決するために本発明による個人情報表示システムは、個人情報及び個人特定情報を予め記憶しているサーバーと、個人特定情報を通信回線を介してサーバーに送信するユーザー端末とを有し、前記サーバーは、予め記憶している個人特定情報と前記ユーザー端末から送信された個人特定情報とを照合し、照合の結果に応じて、前記個人特定情報と関連付けられて記憶している個人情報を前記ユーザー端末に送信し、前記ユーザー端末は前記サーバーから受信した個人情報を表示する。

【0005】 また、本発明の好適な態様では、前記ユーザー端末は、個人を特定する情報を入力する手段を有し、入力した個人特定情報をサーバーに送信する。これにより、例えば訪問者がその場で個人特定情報を入力す

ることができるので、すぐに個人情報を表示することが可能となる。

【0006】 また、本発明の好適な態様では、個人特定情報が指紋情報である。これにより、確実に個人を特定することが可能となる。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、本発明による個人情報表示システムの実施の形態を図を参照して説明する。図 1 は個人情報表示システムの全体構成図である。1 は情報センターで、各ユーザー宅を訪問する業者の個人情報が登録されている。2 はユーザーの宅内に設置されているユーザー端末で通信回線 4 を介して情報センター 1 と接続されている。3 はユーザーの玄関先に設置されている個人特定情報入力装置で、例えば訪問者が指紋を入力し、指紋情報をユーザー端末に送出する。4 は電話回線やインターネット等の通信回線である。5 は、業者端末で、宅配業者等が予め配達員の個人情報を入力して情報センター 1 に送信する。

【0008】 図 2 は個人特定情報入力装置 3 の機能ブロック図である。31 は、指紋入力部で CCD カメラや圧力センサー等の既知の指紋入力装置で構成される。32 は、テンキースイッチや操作ボタンにて構成されている操作部である。33 は、ユーザー端末 2 と有線又は無線にて接続し、指紋入力部 31 からの指紋情報を送信したりユーザー端末からの操作信号を受信するための送受信部である。34 は、液晶ディスプレイやスピーカー等で構成され本装置を操作する操作者に操作案内等を行う表示部である。35 は、CCD カメラ等で構成されて訪問者を撮像するための撮像部である。36 は、CPU や ROM、RAM 等で構成される制御部で、前記の各部の動作を制御する。

【0009】 図 3 はユーザー端末 2 の機能ブロック図である。21 は、個人特定情報入力装置 3 と有線又は無線にて接続し、指紋情報を受信したり操作信号を送信する送受信部である。22 は、テンキースイッチや操作ボタンにて構成されている操作部である。23 は、通信回線 4 と接続し、情報センター 1 と通信する通信部である。24 は、液晶ディスプレイやスピーカー等で構成され本装置を操作する操作者に操作案内等を行う操作部である。25 は、CPU や ROM、RAM 等で構成される制御部で、前記の各部の動作を制御する。

【0010】 図 4 は、情報センター 1 の機能ブロック図である。11 は通信サーバーで、通信回線 4 と接続し、各ユーザー端末 2 及び業者端末 5 との通信を制御する。12 は個人照合部で、ユーザー端末から送信された個人特定情報と個人情報 DB 13 に記憶されている個人特定情報とを照合する。13 は個人情報 DB で、宅配業者等の配達員の氏名、年齢、顔画像、身長、年齢、個人特定コード、指紋情報等が予め登録されている。14 は個人情報登録部で、パソコンや指紋入力装置で構成され、宅

配業者等の配達員の氏名、年齢、顔画像、身長、年齢、個人特定コード、指紋情報等を入力して登録する。

【0011】図5は、本発明による個人情報表示システムの動作を示すフロー図である。以下、図5を参照して説明する。まず、宅配業者等の訪問者は、訪問先に到着すると、インターホン等でユーザーを呼び出す。ユーザーは、訪問者が宅配業者等で配達員の身分を確認したい場合には、ユーザー端末2の操作部22を操作して起動する(S01)。ユーザー端末2の制御部25は、送受信部21を介して、個人特定情報入力装置3に個人特定情報入力指示コマンドを送信する(S02)。

【0012】個人特定情報入力装置3は、送受信部33を介して個人特定情報入力指示コマンドを受信すると、表示部34は個人特定情報の入力促すメッセージ例えば「個人コードを入力し、続いて指紋を入力して下さい。」を液晶表示又は音声出力する。配達員は上記のメッセージに従い、個人特定情報入力装置3の操作部32のテンキースイッチを使用して、自己を特定するコード(例えば社員コード)を入力し、続いて指紋入力部31に指を置いて指紋を入力する(S03)。個人特定情報入力装置3は入力された個人特定コード及び指紋情報(個人特定情報)を送受信部33を介してユーザー端末2に送信する(S04)。

【0013】ユーザー端末2は送受信部21を介して個人特定コード及び指紋情報を受信すると、通信部23にて情報センターと接続する。尚、情報センターとの接続はS01で説明した起動操作によって予め接続処理をしてもよい。ユーザー端末2は、ユーザー端末自身を識別するコードとともに、個人特定情報入力装置2から受信した配達員の個人特定コード及び指紋情報(個人特定情報)を、通信部23にて通信回線4を介して情報センターに送信する(S05)。

【0014】情報センター1では、通信サーバー11で受信した個人特定情報に含まれている個人特定コードに対応して記憶されている指紋情報を個人情報DBから読み出す。個人照合部12では、ユーザー端末2から受信した指紋情報と個人情報DB13から読み出した指紋情報を照合する。照合の結果、両方の指紋情報が一致していれば、個人特定コードに関連づけて登録している個人情報(氏名、年齢、顔画像、身長、年齢等)を個人情報DBより読み出して、通信サーバー11を介して、ユーザー端末2へ照合の結果とともに送信する(S06)。

【0015】ユーザー端末2では、情報センター1から通信部23を介して受信した照合結果及び個人情報を表示部24に表示する(S07)。ここで、ユーザー端末2は個人特定情報入力装置3の撮像部35で撮像した訪

問者の画像を個人特定情報入力装置3より受信し、情報センター1から受信した顔画像を並べて表示するようにしてもよい。これにより、ユーザーが訪問者の顔を確認しやすくなる。ユーザーはユーザー端末2に表示された照合結果および個人情報を見て、配達員が正規の配達員であることを確認して対応する。尚、個人情報DBに登録する個人情報は、情報センター1において個人情報登録部より入力してもよいし、宅配業者等が有する端末から入力して通信回線4を介して情報センター1に送信して登録するようにしてもよい。又、本実施形態においては、ユーザー端末2をユーザーが操作することにより起動するようにしたが、これに限らず、個人特定情報入力装置3を訪問者が操作することで起動し、自動的に情報センター1で個人認証してユーザー端末2に個人情報を表示することも可能である。これによりユーザーの操作を省くことができる。

【0016】

【発明の効果】本発明によれば、個人に特有の指紋情報等のバイオメトリクスにより個人照合を行い、かつ照合結果とともに氏名や顔画像等の個人情報を表示することができるので、見知らぬ訪問者の身分が確認でき、安心して対応することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】個人情報表示システムの全体構成図

【図2】個人特定情報入力装置の機能ブロック図

【図3】ユーザー端末の機能ブロック図

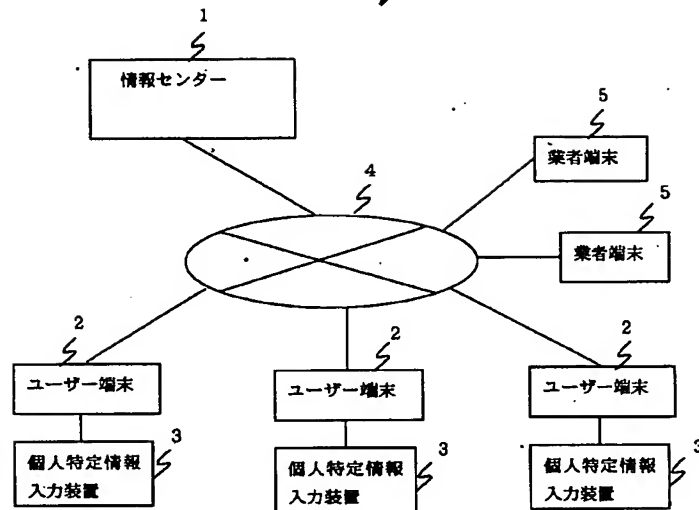
【図4】情報センター1の機能ブロック図

【図5】個人情報表示システムの動作を示すフロー図

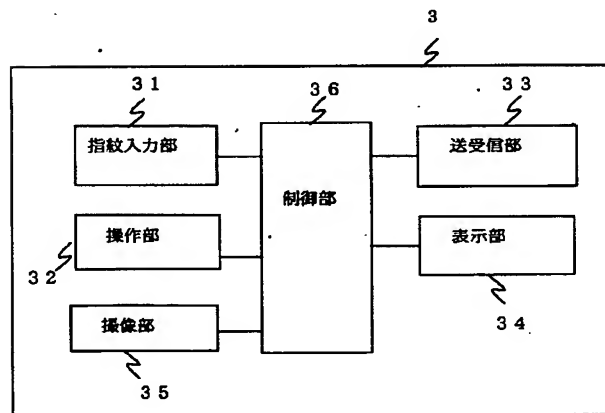
【符号の説明】

- 1…情報センター
- 11…通信サーバー
- 12…個人照合部
- 13…個人情報DB
- 14…個人情報登録部
- 2…ユーザー端末
- 21…送受信部
- 22…操作部
- 23…通信部
- 24…表示部
- 25…制御部
- 3…個人特定情報入力装置
- 31…指紋入力部
- 32…操作部
- 33…送信部
- 34…表示部
- 35…撮像部

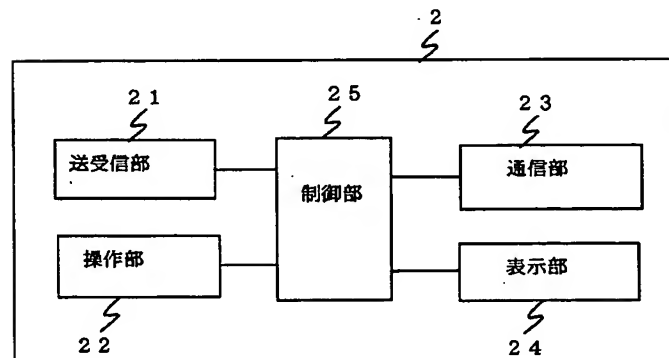
【図 1】



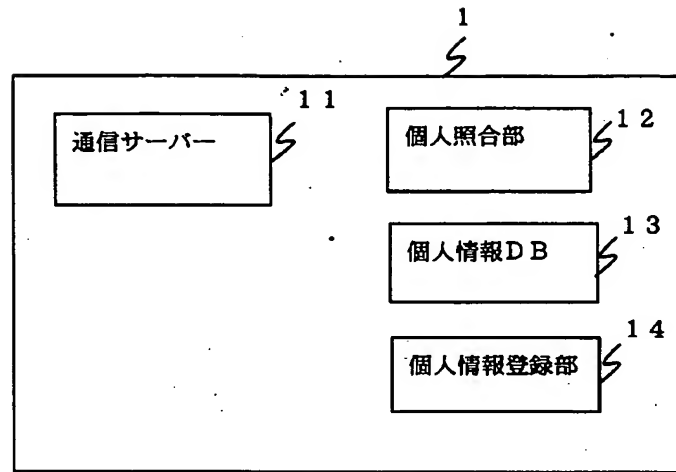
【図 2】



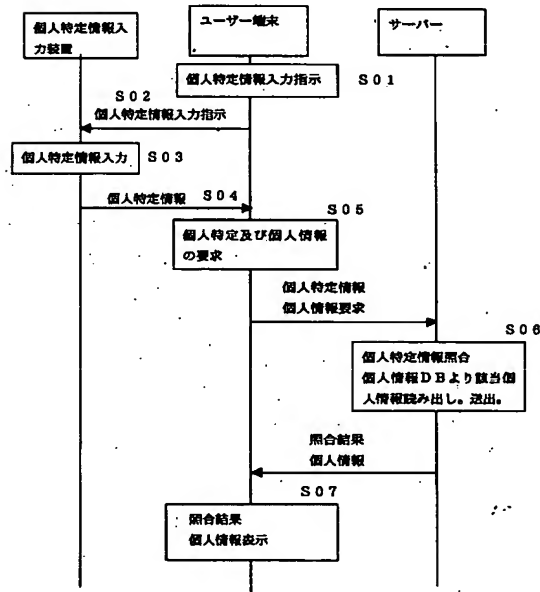
【図 3】



【図4】



【図5】



THIS PAGE BLANK (USPTO)